



2024年2月13日

各 位

会 社 名 株式会社イトーキ

代表者名 代表取締役社長 湊 宏司

(コード番号 7972 東証プライム)

問合せ先 取締役常務執行役員 企画本部長 品田 潤生

(TEL. 03-6910-3910)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2024年から2026年までの3ヶ年の中期経営計画「RISE TO GROWTH 2026」（以下、「本プラン」という。）を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 本プラン策定の背景

当社は2021年に発表した中期経営計画「RISE ITOKI 2023」において、連結売上高 1,330 億円、営業利益 60 億円とする目標を掲げました。この中期経営計画最終年となる2023年の連結売上高は1,329 億円、営業利益は85 億円といずれも過去最高の業績^{*1}となり、着実な事業成長を実現しました。

現在、当社をとりまく事業環境では、ハイブリッドワーク^{*2}に対する企業や働く人々の関心がコロナ禍を経て高まり、また人的資本投資が注目されることで、オフィスの在り方が経営課題の一つと言われるようになってきております。「明日の『働く』を、デザインする。」をミッションステートメントとして掲げる当社は、このような環境変化を好機と捉え、さらなる事業成長を実現するため、「RISE TO GROWTH 2026」をキャッチフレーズとした本プランを策定しました。

※1：株式会社イトーキレピオと株式会社イトーキが統合した2005年以降

※2：出社型オフィスワークとテレワークを組み合わせた働き方

2. 本プランの概要

本プランにおいては、「持続的な成長力を高める」ことをテーマとし、重点戦略「7 Flags」およびESG 戦略を掲げています。これら戦略の下に展開される施策の実現を通じて、2026年に売上高 1,500 億円、営業利益 140 億円、ROE15%の達成を目指します。また、事業成長により得た利益は中長期視点での戦略投資として活用するとともに、ステークホルダーの皆様へ計画的に還元してまいります。

本プランの中心となる重点戦略「7 Flags」、ESG 戦略については下記の通りです。

■重点戦略「7 Flags」

1. Office 1.0 / 2.0 領域^{※3}

新しい働き方やその働き方を実装するオフィス空間などに対し、付加価値提案を強化し、売上と利益のベースを確保する。
2. Office 3.0 領域^{※4}

オフィス家具のIoT化と空間センシングにより、データドリブンで、最適な働き方・オフィス空間を提供するサービスを開発する。
3. 専門施設領域
物流施設領域・研究施設領域において開発・エンジニアリングにリソースを重点配分し、第2の柱に育成する。
4. 高収益化
グループ生産供給体制の再編と社内ITインフラの刷新により生産・業務効率を高める。
5. グループシナジー
イトーキ単体で実施した構造改革「The Project」による成功体験をグループ会社に水平展開し、グループシナジーを追求する。
6. 人的資本
人事制度改革を軸に、社員1人1人の主体的かつ能動的な「創意と工夫」を啓発する。
7. 財務戦略
中長期の観点から、成長戦略投資・社員還元・株主還元を計画的に実践する。

※3：Office 1.0：プロダクトベースの商品販売事業 / Office 2.0：空間ベースの商品ソリューション提供事業

※4：Office 3.0：オフィスDX事業

■ESG戦略

【Environment】

「ITOKI Ecosystem Initiative toward 2050 ～自然共生」^{※5}のもと、生態系へのネガティブインパクト・ゼロ社会の実現に貢献する。

【Social】

自社を「働く」環境投資の実証実験の場として発信し、本業のWork Style Designを推進することで、人的資本の最大化に貢献する。

【Governance】

単体から連結視点に立った経営基盤の再構築を行い、グループ全体のガバナンス向上を図る。

※5：「気候変動対応」「資源循環促進」「サステナブル素材活用」を重点領域として環境貢献活動を推進する社内イニシアチブ

■数値目標

	2026年目標
売上高	1,500億円
営業利益	140億円
営業利益率	9%
ROE	15%